



生物多様性 神戸プラン

概要版



平成28年3月 神戸市

新プランの構成

1

生物多様性神戸プラン改定の趣旨

2

生物多様性の現状と課題

3

新プランがめざすもの

【めざすべき将来像】（将来の神戸がめざすべき姿）

多様ないのちを育む豊かな自然とその恵みを次世代につなぐ自然共生都市“こうべ”

【基本戦略】（めざすべき将来像の実現に向けた施策のあり方）

1. 場をまもる・つくる
2. 人をそだてる
3. 活動をつなぐ・ひろげる
4. 恵みを持続的に活用する
5. 情報をつめる・つたえる・見せる

【行動計画】（具体的な取り組み）

4

リーディングプロジェクト

【リーディングプロジェクト1】 外来種から水辺の在来種をまもる

- ◆市民と取り組むアカミミガメの防除作戦

【リーディングプロジェクト2】 いきものとの共生関係を緑で築く

- ◆「生物多様性保全プロジェクト」キーナの森の整備

【リーディングプロジェクト3】 失われつつある希少種の生息・生育環境をみんなでまもる

- ◆土地所有者・活動団体・大学等の連携による希少植物オカオグルマ等の保全

【リーディングプロジェクト4】 豊かな農地をまもる

- ◆生物多様性と農業の共存共栄

【リーディングプロジェクト5】 すべての市民に最初の一步を促す

- ◆生物多様性に関する啓発の推進

【リーディングプロジェクト6】 情報を集め、発信する

- ◆生物多様性保全に役立つデータベースの整備と活用

5

進行管理と推進体制

生物多様性神戸プランの位置づけ

- 1 生物多様性基本法に基づく地域戦略
- 2 神戸市民の環境をまもる条例に基づく神戸市環境マスタープランの個別計画
- 3 生物多様性地域連携促進法に基づく地域連携保全活動計画の一部

対象地域

神戸市全域（周辺自治体や大阪湾沿岸自治体などとの連携を考慮）

目標年次

平成 37 年（2025 年）度（中間目標を平成 32 年（2020 年）度とする）

1

生物多様性神戸プラン改定の趣旨

六甲山系や丹生・帝釈山系をはじめとした豊富な緑、南に広がる瀬戸内海、さらに里地・里山、広大な田園風景など、神戸の多様な自然環境が生み出す「自然の恵み」は現在を生きる私たちだけのものではなく、後世にも継承していかなければならないことを認識し、「生物多様性神戸プラン 2020」(平成 23 年(2011 年)) 策定後の状況の変化に対応し、必要な改定を行いました。



千河水源地



ため池



里地・里山

プラン改定のポイント

◆ 将来像の見直し

大都市としては自然が豊かな神戸が生み出す「自然の恵み」により着目し、それを将来世代につなぐ視点を加えました。そのために森林、田園・ため池、河川、海岸・海域、市街地など、エリアごとの将来像をより具体的に描きました。

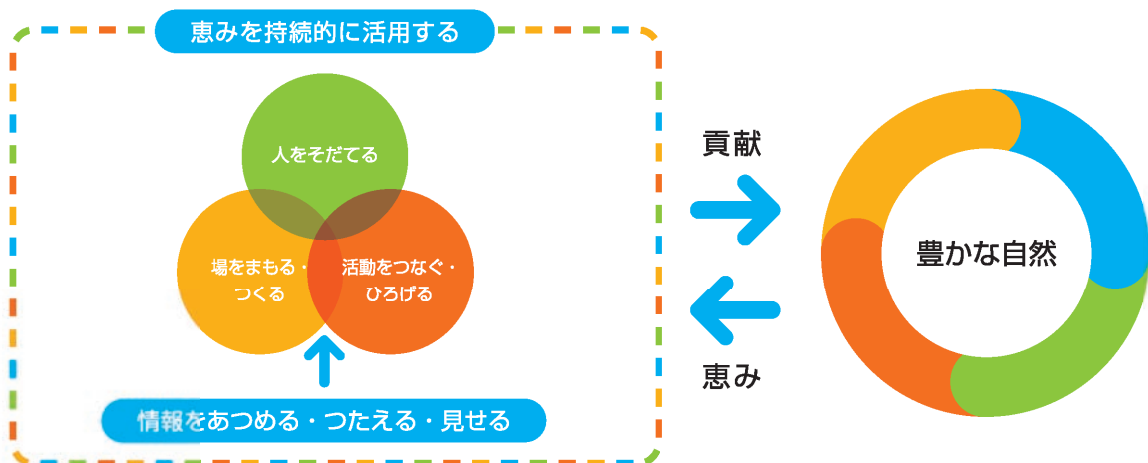
◆ 基本戦略の見直し

これまでの「まちづくり(場をまもる・つくる)」、「ひとづくり(人をそだてる)」、「しくみづくり(活動をつなぐ・ひろげる)」に加えて、横断的な視点として「恵みを持続的に活用する」、「情報をつめる・つたえる・見せる」を追加しました。

◆ リーディングプロジェクトの設定

前記 5 つの基本戦略を具体化するため、特に大きな課題に重点的に対応する事業を「リーディングプロジェクト」と位置づけました。

めざすべき将来像の実現に向けた視点 (イメージ)



神戸市の豊かな自然の恵みを将来にわたって享受し続けられるよう、現世代がその保全に貢献する

神戸市は大都市でありながら、山、海、田園など多様な自然環境を有しており、これらの自然環境から多くの恵みを受けています。一方で、私たちの社会経済活動や、生活スタイルの変化、外来種の増加をはじめとする様々な課題があります。





環境保全型農業の推進

イノシシ被害防止対策の実施

ブナ林保全
(冷温帯性種の保全)

ススキ草原の再生

市民参加による森づくりの推進

河川市民団体による愛護活動の実施

街路樹の育成

工場・敷地内の緑化推進

壁面緑化の実施

親水性の向上と
生物生息空間の整備

藻場の創造育成

ウミガメ
エコツーリズム

○森林

六甲、丹生・帝釈山地を中心に広がる森林は生きものの生息地としてだけでなく、水を蓄える等の機能も有しています。

【課題】

- ・管理放棄
- ・温暖化による植生の衰退
- ・シカの侵入による植生衰退の危険増加

○市街地

市街地では、多くの公園や街路樹、学校のピオトープなどが生きものの棲みかとなっています。

【課題】

- ・生きものの生息空間、移動への配慮
- ・外来種の侵入、定着
- ・イノシシの出現

めざすべき将来像

多様ないのちを育む豊かな自然とその恵みを
次世代につなぐ自然共生都市“こうべ”

目の前に迫っている自然の恵みを脅かしている危機に適切に対応し、その恵みを次世代に引き継いでいくため、新プランでは、めざすべき将来像とエリアごとのめざすべき将来像を定め、市民、市民団体、事業者、行政等の各主体が一体となって、着実に生物多様性保全に向けた施策を進めていきます。

基本戦略

めざすべき将来像を実現するため、取り組みを具体的に推進するための施策のあり方として5つの基本戦略を定めます。

基本戦略1：場をまもる・つくる

多様な生物が生息・生育し、自然の恵みを享受することができる場の保全・創出

神戸の特徴である豊かで多様な動植物の生息・生育環境である場をまもりながら将来に向けて創り出すことで、自然の恵みを次代に引き継ぎます。

◆取り組みでいく事項◆

- 1 多様な生物の生息・生育環境の保全・創出
多自然川づくり（河川整備）、在来種（郷土種）の利用、盗掘・密猟への対策など
- 2 人手が入らないこと等による生物多様性の喪失・恵みの低下への対応
森林整備に係る活動における土地所有者と活動者のマッチングなど
- 3 外来種対策
ブラックリスト※1を用いた普及啓発、外来種の防除など
- 4 在来野生鳥獣被害対策
鳥獣被害防止計画に基づく動物の捕獲と防護など
- 5 地球温暖化問題に対する対応
温暖化の影響が危惧される動植物のモニタリング、まちなかの緑化の推進など

基本戦略2：人をそだてる

「自然の恵み」の源となる生物多様性の大切さに「気づき」、「行動」できるひと、それを伝えることのできるひとづくり

神戸の自然の特徴である「豊かな生態系が市街地の近くにある」という特徴を活かして、生物多様性の価値に気づき、行動することができるよう、あらゆる世代・機会に行動を喚起させる取り組みを進めていきます。

◆取り組みでいく事項◆

- 1 地域の自然から学ぶ取り組みの推進
市内の自然観察スポットの周知、保全活動に関する情報提供など
- 2 地域の人々と学ぶことができる取り組みの推進
地域コミュニティ（エコタウン※2）を活用した生物多様性の学びの推進など
- 3 環境学習の機会の創出・確保
副教材（小学校）の配布、学習講座、自然観察会、シンポジウムの開催など
- 4 人材の育成
親子向け自然体験学習講座の開催など

※1 ブラックリスト：生態系に悪影響を及ぼす外来種のリスト

※2 エコタウン：概ね小学校区を対象に、地域の皆さんが主役となって環境にやさしいまちづくりを行うこと

基本戦略3：活動をつなぐ・ひろげる

各主体間（市民、市民団体、事業者、行政など）の連携による、地域の生物多様性を守る取り組みの推進とそれを支える制度・仕組みの構築

生物多様性の保全と持続可能な利用を実現するため、様々な主体がそれぞれの強みを生かしながら連携し、相乗効果を発揮しながら、継続して取り組めるよう制度、仕組みを構築していきます。

◆ 取り組んでいく事項 ◆

- 1 **生物多様性を保全するために必要な制度・しくみづくり**
神戸市生物多様性保全活動補助事業など
- 2 **保全活動への参画促進に向けたしくみづくり**
エコタウンまちづくり事業など
- 3 **主体間の連携促進、各主体の活動促進に寄与する取り組みの実施**
専門家などとの意見交換の場の設置、事業者の保全活動の表彰制度の活用など
- 4 **行政における連携強化**
行政内の研修の実施、部署間の情報交換の推進など
- 5 **地域連携保全活動計画※3**

基本戦略4：恵みを持続的に活用する

自然の恵みの持続的な利用に貢献する社会経済活動の推進

くらしを支えている農漁業、観光都市などの特徴を活かした社会経済活動を推進し、積極的に自然にかかわることで、自然の恵みの持続的な利用につなげます。

◆ 取り組んでいく事項 ◆

- 1 **農水産業の振興**
生産の担い手確保、農水産物のブランド化、地産地消の推進など
- 2 **環境保全型農水産業の推進**
冬期湛水・こうべ版 GAP の促進、海底耕耘の支援など
- 3 **農村地域の活性化**
神戸・里山暮らしの推進など
- 4 **不耕作地における生物多様性の保全活動の推進**
- 5 **レクリエーション資源としての活用**
エコツアーや体験教室の実施など

基本戦略5：情報をおつめる・つたえる・見せる

生物多様性に関する情報の収集、分かりやすい発信

生物多様性について継続的に情報を集め、分かりやすく発信します。

◆ 取り組んでいく事項 ◆

- 1 **野生動植物の生息状況に関する調査**
市民参加による生物調査など
- 2 **データの活用・発信**
KOBÉ 生物多様性プラットフォームによる情報収集・発信、公共工事での事前配慮など

※3 地域連携保全活動計画：地域の自然的・社会的条件に応じ、多様な主体が有機的に連携して行う生物の多様性を保全するための活動のための実行計画

自然の恵みを次世代に引き継ぐため、
目指すべき将来像の実現に向けた取り組みイメージ



環境保全型農業

美濃川

武庫川



みんなで作る
KOBE
生きものマップ



茅葺文化

有馬温泉

フナ

六甲山

エコム

東おたふく山
ススキ草原
再生

水源涵養林

宮水

グリーンベルト
(防災)

水と緑のネットワーク

待合路樹

みどりの聖域

布引滝

環境学習拠点
キーナの森

地元野菜

FRESH!

住吉川

工場の緑化

都賀川

六甲アイランド

ポートアイランド

神戸
空港

Hello神戸

妙法寺川

コンニチワ
神戸

緩傾斜護岸の海藻生育

基本戦略を具体化する取り組みのうち、生物多様性を保全する上で、特に大きな課題に重点的に対応する事業を「リーディングプロジェクト」とし、取り組みを進めていきます。

リーディングプロジェクト1

外来種から水辺の在来種をまもる

～市民と取り組むアカミミガメの防除作戦～



市民団体との協働による防除

市内の水域に広く分布しているアカミミガメは、在来のカメ類と生息場所が競合するなど生態系への影響が大きい
ため、行政・市民団体等が協力して防除を進めます。

プロジェクト内容

- 行政、市民団体等の協働による防除と、市民団体等の自主的な活動に対する支援。
- ペットとして飼育しているアカミミガメの遺棄や逸出防止の啓発。
- 防除地点における防除効果の調査と、在来種の保全に必要な対策の実施。
- 防除したアカミミガメの活用方策についての情報収集、検討。

リーディングプロジェクト2

いきものとの共生関係を緑で築く

～『生物多様性保全プロジェクト』キーナの森の整備～



キヨスミウツボ

キーナの森（北区）一帯の自然林や里地・里山がモザイク状に広がる恵まれた自然を次世代に継承するため、保全対策を行うとともに、環境学習などの拠点として活用します。

プロジェクト内容

- キヨスミウツボ等の希少種が生育する環境の保全。
- 事業者や市民団体等による森の手入れ、環境学習の場等としての活用。
- 農業体験や里山の維持管理作業等を通じた里地・里山の生物多様性の再生。
- 生きものとのふれあいを通じた子どもの遊びや学びの空間としての活用。

リーディングプロジェクト3

失われつつある希少種の生息・生育環境をみんなでまもる

～土地所有者・活動団体・大学等の連携による希少植物オカオグルマ等の保全～



棚田での活動風景

北区山田町に広がる山間の棚田に生息する希少種（オカオグルマやカスミサンショウウオなど）の生息・生育環境を守るため、畦の草刈りや生息・生育状況調査を行います。

プロジェクト内容

- 土地所有者、市民活動団体、大学等による環境保全のための協議会の設置。
- 協議会による土地の手入れ、動植物の生息・生育状況の調査、試験的な営農。
- 保全活動及び就農希望者への支援。

リーディングプロジェクト4

豊かな農地をまもる

～生物多様性と農業の共存共栄～

食糧生産だけでなく、水辺や草地に生息・生育する生きものの棲みかとして重要な農地を維持するため、農村地域の活性化と環境保全型農業の普及を行います。

プロジェクト内容

- 農村地域の特色を活かして実施する里づくり事業の推進。
(棚田の保全、地域農業の担い手・後継者の確保、美味しい米の販売・加工等)
- 冬期湛水等、環境保全型農業のマニュアル化。
- 交付金制度の活用による環境保全型農業の支援。



北区の棚田

リーディングプロジェクト5

すべての市民に最初の一步を促す

～生物多様性に関する啓発の推進～

子どもから大人まで、全ての市民が生物多様性を保全することの大切さを知り、正しく行動するため、学校教育、生涯学習、シンポジウムの開催など、普及啓発を推進します。

プロジェクト内容

- 「きせつの生きものさがしガイド」を活用した授業や課外活動の実施
(学校教育との連携)。
- 生物多様性シンポジウム、エコタウンを活用した地域での学習、親子向け自然体験学習講座、神戸市地球環境市民会議による市民行動宣言による啓発等。
- 「こうべ環境未来館」を活用した体験学習等。



親子向け自然体験学習講座

リーディングプロジェクト6

情報を集め、発信する

～生物多様性保全に役立つデータベースの整備と活用～

市民、市民団体、事業者、行政等が市内の野生動植物の生息・生育状況を認識し、生物多様性の保全に向けた取り組みを進めることができるよう、情報の蓄積と発信を行います。

プロジェクト内容

- 市内の希少種及び生態系に影響を及ぼす外来種等の選定(神戸版レッドデータ)。
- 「みんなで作る KOBE 生きものマップ」への参加者の拡大、野生動植物の目撃情報の収集と整理、情報の共有と発信。
- セミや南方系動植物等の分布情報の収集による地球温暖化、都市化等の影響の把握。



神戸市

神戸の希少な
野生動植物

神戸版レッドデータ2015

神戸版レッドデータ 2015

5

進行管理と推進体制

- ◆ 様々な主体が協力し、情報共有、意見交換などを行いながら推進します。
- ◆ 「生物多様性神戸プラン推進委員会」で進捗状況を総合的に評価し、取り組みの改善・強化を進めます。
- ◆ 庁内では、「神戸市地球環境保全推進本部」を設置し、本市の多様な生態系の維持に関係するあらゆる部局が連携し、生物多様性保全に向けた取り組み状況の把握、情報交換等を行い、課題を共有化するとともに、その解決策、改善策を検討します。

【多様な主体の連携と協働による推進】



評価・改善提案 ↑ ↓ 進捗状況報告

【生物多様性神戸プラン推進委員会による進行管理】

- プランの進捗状況の評価
- 取組の改善・強化等に関する審議

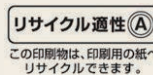


神戸市 環境局 環境保全部 自然環境共生課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

Tel : 078-322-5316 / Fax : 078-322-6069

E-mail : kankyo _ sidou _ johou@office.city.kobe.lg.jp



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBETD

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008